

実習4：プリエンプションに対する完全な排他制御

■ デバイスドライバの実装仕様

- `atomic_set()`, `atomic_cmpxchg()`関数を使って、`read()`→`write()`間を実行中のタスク数カウントをアトミックな処理に変更

■ 動作確認

1. 1つのLEDを100ms間隔で点滅
2. 8つのプロセスを同時に起動して、それぞれ異なるLEDを100ms間隔で点滅（複数起動は、シェルの「&」でよい）
3. 前述動作確認を10ms, 1msの点滅間隔で10~20回実行